

後世に繋ぐ環境作り～里山と川と海～

京都府立宮津天橋高等学校
フィールド探究部

活動概要

私達フィールド探究部は、「地域で科学、地域を科学」「本物を感じる」をモットーに丹後地域の山から海への流域に対する理解を深め、新たな価値の創造し後世に残すことを目的に活動しています。

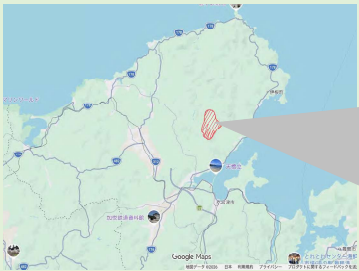
～山での活動～

『上世屋』は丹後半島を代表する里山で、私たちは多様な活動をしています。

- ・里山公園の設置
- ・きのこ調査
- ・外来種の駆除
- ・希少種の保護

○上世屋

日本の里100選などに指定されている。そこからは豊かな里山、棚田を望遠でき、さらに環境省の自然共生サイトにも登録されました。



上世屋の景色

里山公園の設置

上世屋の共生サイトの近くに公園を作りそこでキャンプをすることによって私達自身が自然を直に感じることできる



きのこ調査

上世屋に自生しているきのこを採集・調査し調査したものの写真を撮り図鑑を作ったり上世屋で生育環境の調査をしている



外来種の駆除

上世屋に生息しているアメリカザリガニをもんどり罠で捕獲し美味しく食べられる調理方法研究をしています



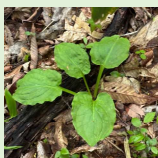
希少種の保護

上世屋での生息域や減っている理由を調査しその対策を実行する

※ミツガシワの場合

理由：鹿の食害

対策：ミツガシワの周りに柵を設置



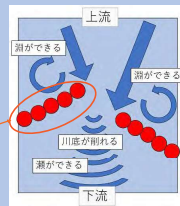
～川での活動～

私たちは、主に大手川という学校付近で流れる川で日々活動しています。

- ・パープエの作成
- ・生態調査
- ・川塾

パープエの作成

パープエを作成することによって、川に流れの緩やかなところと、速いところを作り、それぞれの魚にとって住みやすい環境を作ることによって、魚たちの種類を増やしています。



生物調査

実際に川に入って生き物を捕まえることで、川に潜んでいる生き物を調査・記録して川の環境を調べています。



川塾

川塾と言う活動では、子供たちと一緒に魚を捕まえ、魚を食べたり、石磨きや人間パープエを行ったり、楽しみながら、川の環境をよくして行きます。その後、川の歴史や、川のこれからの未来について学習して、お互いに考えを深めることができました。



～海での活動～

私たちは、主に阿蘇海という宮津市の海で日々活動しています。

- ・増えすぎた牡蠣殻の回収
- ・生態調査
- ・阿蘇海のイベントでの出展



増えすぎた牡蠣殻の回収

日本三景、天橋立に接している阿蘇海。しかし牡蠣殻においては原因や景観の悪化、さらには船の底を傷つけてしまうため牡蠣殻を回収しました。



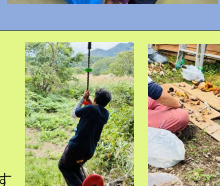
生物調査

NPO法人国際学生ボランティア協会IVUSAの皆さんと協力し生物調査を実施しました。牡蠣殻を棲家になっている生物を大量に発見し生態系で重要な役割を果たしており一概に悪いとは言えない現状を確認しました。



イベントへの出展

阿蘇海フェスというイベントで活動を発表。また阿蘇海のゴミを展示して来場者に分別してもらうことで阿蘇海の現状を肌で感じ、自分ごととして考えてもらいました。



～今後の展望～

山について

- きのこの栽培→きのこのブランド化
- 里山公園の拡大→上世屋に来る人を増やす



川について

- 川の川上流に魚道を設置→遡上をする魚(アユ、サケ)を増やす
- 川塾を地元の中학생を巻き込んでする→今よりも多くの人に「川」を知ってもらう



海について

- 生物調査をしていく→海の生態系・環境への理解を深める
- 図鑑などを子供にも理解を深めてもらう

～まとめ～

- 山と川を最初は別だと考える
- ↓
- 川の水は山から来ている
- ↓
- 強い繋がりを持っていると感じる
- ↓
- 山の水源から川を通して海へ(流域)
- ↓
- その流域を私達が楽しく学ぶ
- ↓
- それを後世に繋げていく

